



厚生労働大臣 優秀賞

中小企業4社が集結し、業種と地域を越えて 共に社員の健康課題に挑む!

受賞者

4社合同健康研究会

①株式会社浅野製版所 ②サイショウ・エクスプレス株式会社
(東京都中央区) (東京都江東区)
③高木建設株式会社 ④ルピナ中部工業株式会社
(長野県長野市) (長野県松本市)

取組アクション



●「社内喫煙率改善」と「女性特有の病気への理解」に特化した改善プログラム

背景・概要

令和3年8月、中小企業の健康課題の解決と働きやすい職場環境の構築を目指して、地域も業種も異なる企業4社の経営者と健康経営担当者が、月1回勉強会を行う「4社合同健康研究会」を発足。「4社共通の健康課題」と「少人数であるがゆえの課題解決の難しさ」を解決するため、「4社合同健康プロジェクト(社員数4社合計179名)」としてプロジェクト化。2022年4月より4社協働で運営を開始した。

取組内容

- 4社合同禁煙プロジェクト** 「4社で喫煙者-10%（4社の喫煙者31名のうち3名以上が禁煙）」という目標値を掲げ、4月から8月末まで禁煙の取組を実施。①4社経営者による「禁煙宣言メッセージ動画」制作・公開、②喫煙の実態把握を目的とした「喫煙状況アンケート」の実施、③持ち回りでの禁煙取組や体験談（成功・失敗談）などを紹介する「共同Instagram」開設と運営、④禁煙ポスターの制作、⑤各企業での「喫煙ルールの制定」および「禁煙者へのサポート」に取り組んだ。
- 4社合同女性の健康プロジェクト** 4社の女性社員40名を対象にPMSや更年期障害など女性特有の病気について学ぶ「女性の健康研修」とグループワーク「女性の健康かるたづくり」を令和4年6月27日にオンラインで開催。かるたは絵札と読みを一人1作品制作し、発表を行った。



▲Zoom 勉強会の様

企業部門

成果

- 4社合同禁煙プロジェクト** 4社の喫煙者31名のうち3名が禁煙を開始し目標を達成。さらに8名が減煙中となり、喫煙者のうち29%もの社員がアクションを起こすことに成功。
- 4社合同女性の健康プロジェクト** 所属企業、年代を越えたグループワークは、女性特有の病気や症状について女性社員同士の共感を促し、コミュニケーション面で良い効果を發揮した。また、女性社員全員で制作した「女性の健康かるた」は、男性社員にも公開し、かるたを通じて女性の健康に対する理解につながった。



▲女性の健康かるた



受賞者の声

①取組のきっかけ

コロナ禍以降、1社単独で取り組む健康推進に限界を感じていた。そこで健康経営に取り組んでいる4社が集結、健康経営担当者が連携し企画から運営まで一緒に取り組み、健康課題の解決を目指した。

②取り組む中で苦労したこと、大変だったこと

4社共通の健康課題は「喫煙率が減少しないこと」と「女性特有の病気への理解」であった。4社とも業界特有の習慣や女性社員が少ない業界のため特にハードルが高く、結果を出すことが難しい健康課題だった。

③②をどう乗り越えたのか

地域や業種を超えて活動するためにリモート会議を積み重ね、共通課題を洗い出しプロジェクト化。企業を越えたコミュニティを形成し、中小企業の健康推進を「1社で頑張る」から「一緒に頑張る」に変えることができた。

④今後の展望

「健康」というテーマを越え、企業同士・社員同士の新たなコミュニティの形成に向けて一緒に頑張る健康経営として「女性の健康かるた大会」や「健康促進運動会」など健康イベントを開催したい。

評価委員による講評：中村 正和

健康経営を進める上で人材やリソースが限られている中小企業において、業種が異なる4社が企業の枠を超えて健康課題に取り組むモデルを実証的に示した事例です。評価できる点は、1)人材やリソースの不足を解決するために複数他社が力を合わせて取り組むという着想のすばらしさ、2)4社合同で経営者と健康推進担当者が毎月勉強会を開催し、相互に学び合い支え合う仕組みの構築、3)各社の実態に合った数値目標を設定し具体的なアクションにつなげ、そのプロセスや成果を共有している点、です。労働力人口の約7割を抱える中小企業が健康経営に乗り出ることは、健康寿命の延伸だけでなく、日本経済の成長にとっても大変意義があります。まだ取組から日が浅いですが、今後の発展と成果に期待します。